

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	専修大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	センシュウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ1・2
	学部・研究科等名	経営学部経営学科
	担当教職員名・役職	小沢一郎教授、奥村経世准教授、齋藤憲教授、三宅秀道准教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	9
	受入企業等数	12
	受入企業等名	・セントラルスポーツ株式会社・カガク興商株式会社・平林金属株式会社・株式会社カナオカ 他7社
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業が用意した研修内容に沿って様々な業務を体験する。組織の動き、仕事の仕組み、情報の流れなどの実態に触れることを通じて、大学で学んだ「経営」に関する理論・知識と実践との橋渡しをする。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		2年次、3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		専門教育課程の演習科目の中の1科目であり、選択必修科目である。配当年次は2・3年次であり前期開講科目の「インターンシップ1」と後期開講科目の「インターンシップ2」をセットで履修することを原則としている。それぞれ2単位付与され、セットで単位を修得すれば4単位付与される。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップの突発事項・日程変更などは大学に連絡が入るようになっている。	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施前に、授業の一環として、ビジネスマナーを修得するための授業を実施している。具体的には、インターンシップの目的や職場の基本マナー、来客・電話対応、言葉遣いや心構えなどを学習する。また、企業の事業内容を学習し、自己の目標を記入した研修志望理由書を企業に提出することで、成果目標の策定を図っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施後2回目の授業内で報告会を行い、自身の経験の振り返りを行っている。また、12月に企業の担当者をお招きした「インターンシップ報告会」にて成果発表を行い、学生が企業で何を学んだかを担当者に伝えている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの突発事項・日程変更などは大学に連絡が入るようになっている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	企業担当者に成績評価票を記入していただき、学生の取り組みを評価している。具体的には、勤務態度・業務への熱意・業務の理解の3項目に4段階評価と具体的所見、最終的な総合評価と総合所見を記入していただく。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	成績評価票を受入企業担当者に記入していただくことで、学生のインターンへの取り組みの評価としている。具体的には、勤務態度・業務への熱意・業務の理解の3項目のそれぞれに、4段階評価と具体的所見を記入していただく。また、最終的なまとめとして、総合評価と総合所見を記入していただく。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学の夏期休暇期間中における受入企業が指定した2週間で実施を行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業担当者に成績評価票を記入していただき、学生のインターンへの取り組みを評価している。具体的には、勤務態度・業務への熱意・業務の理解の3項目のそれぞれに、4段階評価と具体的所見、最終的な総合評価と総合所見を記入していただく。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/slbsrch.do?clearAccessData=true&contentname=slbsrch&kjnmnNo=12
問い合わせ先	大学等名	専修大学
	担当部署名	教務部教務課(生田)
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	044-911-1256
	メールアドレス	mkyomu@acc.senshu-u.ac.jp